



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>
印刷部数110900部(購読料は組合費に含まれています)
年間購読料1800円(定価50円)

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話 03(5332)3971(代表)
FAX 03(5332)3972

発行人・編集人
三木 勉

仲間を増やす春の拡大月間 4~5月 終盤へ 「組合のメリット」と「困ったことは組合へ」の声をさらに広げよう

新しく組合員になられたみなさんへ
みなさんの加入を心から歓迎いたします。

この度は東京土建にご加入いただきありがとうございます。東京土建には、左記のとおり様々なメリットがあります。いずれも「知っている」は得する「制度」です。

気になる制度がありましたら、組合の役員や支部事務所までお気軽にお問い合わせください。

仕事や健康、くらしのこと等、困っていることはありませんか？
どんなことでも組合にご相談ください。

また、社会保険の加入対策や不払い問題など、あなたはもちろん、あなたの周りで悩んでいる方はいらっしゃいませんか？
一人で悩んでいないで、「まず組合へ相談を」しましょう。東京土建では、相談者の立場で親身に対応いたします。組合未加入者の方へも「東京土建へ」とお声かけ下さい。



魅力たっぷり 東京土建の様々なメリット
「知って得する」諸制度の一部を紹介します。
詳細は組合パンフをご覧ください。支部事務所にお問い合わせください。

- 病気やけがのときにも安心「土建国保」「組合総合共済」。
- 安い掛け金で充実の保障「どけん火災共済・地震共済」「どけん自動車共済」。
- 事業主も特別加入できます「労災保険」。「賠償保険」も扱っています。
- アスベスト対応レントゲン再読影(40歳以上)「健康診断」。
- 法人・個人の決算をお手伝い「東京土建経営センター」。
- 取得までの相談とサポート「建設業許可」。
- 消費者からの信頼で仕事確保、資材の割安購入「国交省登録リフォーム事業者団体「一般社団法人リフォームパートナー協議会(通称:RECACO)」」。
- 仕事に役立つ資格・技術「東京土建技術研修センター」「建築カレッジ」。
- 地域の減災・防災に役立ちたい「チームNAMAZU」。
- 国がつくった退職金制度「建設業退職金共済」。
- 賃金や請負代金の不払い相談も実績のある東京土建組合に。
- 社会保険の加入対策。上位企業への法定福利費請求方法等も相談に乗ります。

支部・分会・群の役員・活動家のみならずへ
新しい仲間を歓迎し、組合の魅力を伝えて、つながりをより深めよう

春の仲間づくりをはじめ諸活動、大変お疲れ様です。組合への加入は引き続き好調です。新しく加入した仲間を温かく迎え入れましょう。

新加入者と早いうちに顔見知りとなり、右記にあげるような組合業務を説明し利用してもらい、つながりを持ちましょう。

新加入者は組合のことをよく知らない方が大多数です。組合の魅力や分会・群のルールなどをわかってもらうのは最初が肝心です。役員の側からアプローチをおこなって、業務だけではなく組合のメリットや約束ごとなどを話し、組合の魅力について縦横無尽に伝えましょう。また同じことが日頃顔を出不ない仲間にも言えます。拡大月間中に、新加入者をはじめ「たぐさんの仲間」に会い思い切った行動に足を踏み出しましょう。



あなたに「できること」はありますか？

例えば...

- 自宅や事務所にポスターや立て看板を貼れる。
- チラシ配布の手伝いができる。
- 組合に入っていない人を紹介できる。
- 現場で知り合った人に組合のパンフを渡すことができる。
- 分会のレクリエーションに参加できる。
- 住宅デーに参加できる。
- 群の仲間の家に道案内できる。

色々な保障をまとめても年間1万円から! 生活まるごと安心パック (火災共済・地震共済・自転車保険)

万が一のときの保険。家計にやさしい「どけん共済会」の制度に見直してみませんか? 持ち家の方はもちろん、借家の方も家財に対して火災・地震共済がかけられます。また借家人の賠償責任が問われた場合には、自転車保険の個人賠償補償でカバー。組合員本人だけではなく同居家族全員の個人賠償事故も対象です。今なら下記の特典付き。この機会にぜひ検討してみましょう。

特典対象 火災共済・地震共済・自転車保険の3制度に同時に加入した組合員
特典期間 2017年4月1日~2018年3月1日発行 **特典内容** 加入者にクオカード1,000円分(口座登録の特典を含みます)

都政に私たちの願いを届けよう

7月2日は都議会議員選挙

17年度の東京都予算では、待機児童解消などの保育・教育や商店街振興支援などの一定の前進があるものの、大枠では従来の成長戦略と開発路線を踏襲したものとなっています。しかし「都民ファースト」を掲げる小池都知事は、住民や団体の意見を聞く姿勢であることが特徴です。私たちの要求運動をすすめることで名実ともに「都民本位」の都政が期待できます。

私たちは次のことを都政に要求します。

1. 建設国保組合に対する都費補助金は、現行水準を確保してください。
2. 建設国保組合が行うアスベスト疾患を含むガン対策事業への財政支援を拡充してください。
3. 東京五輪施設工事現場において安全・適正な労働条件を確保し、建設労働者の処遇改善につなげるために、国際的なモデル現場としてください。また、組合と発注者・元請との定期協議の場を設定してください。
4. 賃金引上げ・労働条件向上へ、東京都において公契約条例を制定してください。
5. 東京都としてリフォーム助成制度を創設してください。
6. 新規入職者支援制度や建設関係資格取得支援制度、職業訓練校への助成などの支援制度を創設・拡充してください。

これらの要求について、分会や群で大いに話題にしましょう。



チーム NAMAZUは 隊員募集中です!

私たちは、大災害救助に必要な機材(ボール、ジャッキ、重機など)を保有し、建物に関する豊富な知識と経験、そして技術を持っています。

東京土建では災害時における救助活動や地域の防災活動にとりくむまちの救助隊「チームNAMAZU」を結成しています。ご協力いただける方はぜひ、所属の支部で登録をお願いします。

住宅デー

東京土建

第40回記念

6月4日(日)を中心に都内各所で開催

※会場により日程が異なります。東京土建本部ホームページなどで事前にご確認ください。

に参加しよう

地域の防災・減災活動に

重要な役割を担う東京土建

住宅デーで私たちの活動を広めよう

地域住民とつながりを持ち仕事確保にもつなげよう

6月4日(日)を中心として、第40回住宅デーを開催します。住宅デーは、私たちの技術・技能を活かして、地域住民へ「住宅相談」や「子供向け工作教室」などの活動を通じて、私たち東京土建の仲間の存在をアピールすると同時に、私たちが地域の身近な住まいの相談窓口であることを認識してもらおうためのとりくみです。みなさんの所属する分会の住宅デー会場や日程を確認して、事前準備などの協力をお願いします。また、当日はご家族・ご近所を誘って、大勢の参加で会場を盛り上げましょう。



建築士、リカコ会員、住宅センター会員が力を合わせ、地域住民の住宅相談に対応しよう

技術・技能で住民に信頼される住宅デーを仲間の力で成功させましょう。消費者のさまざまな住宅の相談に対応できる、組合の受注支援の協力体制づくりが求められています。どんな住宅の相談にでも対応するため、家づくりに必要な職種の仲間がいる東京土建の力を発揮しましょう。

大手や家電量販店、ホームセンターの町場進出に対抗できる組合の職域防衛・仕事確保の協力体制づくりを進めましょう